

安東こども園

重点目標

「やってみよう もっとやってみよう」

2025年度 春号

どきどき！わくわく！な新しいクラスでの生活が始まって、約2ヶ月が経過しました。園内で友達や保育者と好きな遊びを楽しんだり、散歩先で春を見つけて春ならではの遊びを楽しんだりする子ども達の様子を紹介します！

0.1 歳児

ダンゴムシさん
いた！

2 歳児

水って
気持ち
いい！

年少



手作りマラカスなど音の鳴るおもちゃがお気に入り、遊んでいる友達に近寄り、ニコリ顔を見合わせる姿が微笑ましいです。4月に入園した子ども昨年度から進級した子ども少しずつ新しい環境に慣れてきた様子です。

園庭で見つけたダンゴムシを飼っています。朝、登園すると「ダンゴムシさんいるかな」と飼育ケースを覗いたり、給食室で野菜の切れ端をもらって入れてあげたりしています。「こっちがお母さん」「これは赤ちゃん」と親しみをもって呼んだり、手の平に乗せてみたりしてかわいがっています。

年少クラスの子ども達は泥んこ遊びや水遊びを楽しんでいます。水しぶきのかかる気持ちよさや、泥のひんやり、むにゅっとした感触がお気に入りです。また、水鉄砲のように水がとんでいく様子や、袋に入れて水を掴む感覚など、“水のおもしろさ”を感じる中で、「なんでだろう？」「もう一回やってみよう！」と繰り返し遊ぶことを楽しんでいます。

年中

流れた！

なにつくろ
うかな？

年長



樋を使って水が流れるコースを作り、葉っぱや木の枝をソーメンに見立てて流したり、コースを長く伸ばしてみたりと、考えたことを試しています。泥を使ったケーキ作りや泥団子作りも、繰り返し遊んでいると「じょうずにできた！」という瞬間があり、イメージした物を形にする楽しさを感じながら遊んでいます。

散歩先で春の植物を見つけ、「これ、こども園で使えるかも！」とこども園に持ち帰り、園庭でままごとが始まりました。切る係、混ぜる係、盛りつける係など自分たちで考え、役割分担をして1つのごちそうを作る姿が見られました。友達との関わりが増え、「こうしよう！」「こっちの方がいいんじゃない？」と思いを伝え合いながら遊んでいます。